

頸動脈エコーで動脈硬化をチェック！

動脈硬化性疾患は近年、死因の3割を占めるほど増加傾向です。それゆえ、早期に発見・予防・治療することが重要な課題となっています。しかし、動脈硬化の程度を簡便かつ正確に評価できる検査方法は限られています。

頸動脈エコーはこの限られた検査法の一つです。脳ドックでは、頭部MRIと並んで必須の検査項目となっています。



動脈硬化は血管を硬くさせます。すると血管の中にコブ（プラーク）ができるなどにより狭くなったり、詰まったりしてしまいます。動脈が細くなると脳への血流が行きにくくなります。さらに怖いのはこのプラークが剥がれて飛んでしまえば脳梗塞をおこしてしまいます。動脈硬化を引き起こすリスク要因は高血圧・高脂血症・糖尿病・喫煙・加齢などです。

頸動脈はプラークが生じ易い部位です。頸動脈エコーはこの頸動脈の血管の壁（内膜）が厚くなり狭くなっている様子を映しだすことができます。つまり、プラークの厚さ・形状・表面・内部の状態、頸動脈の狭窄の程度、血流速度などをチェックして、動脈硬化の診断を行います。

検査方法は仰向けに寝た状態で首にゼリーを塗りプローブをあてて検査していきます。被ばくも痛みもない検査なので、安心かつリラックスして受けていただけます。

定期的に検査を受け、ご自分の血管の状態をチェックしましょう。